

令和2年11月1日発行

寿地区人権学習講座『星に語りて ~Starry Sky~』上映会

- ☆日時 11月18日(水) 午前の部 9:30~12:00(終了後、感想タイム) 先着30名
午後の部 14:00~16:30(終了後、感想タイム) 先着30名
夜の部 18:30~21:00(終了後、感想タイム) 先着30名
- ☆会場 寿地区福祉ひろば
- ☆入場 無料 ★駐車場は寿公民館第2駐車場をご利用願います!!(裏面参照)
- ☆主催 寿地区人権啓発推進協議会(寿公民館)、寿地区福祉ひろば
社会福祉法人アルプス福祉会
- ☆共催 寿地区地域づくり協議会 福祉部会
- ☆申込み 寿地区福祉ひろば(☎57-9168)、または寿公民館(☎58-2038)へ



2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。
消えてしまった障害のある人と、苦悩する支援者描く劇映画。

星に語りて
Starry Sky

きょうされん40周年記念映画
松本 動 監督作品

舞台の一つは、岩手県陸前高田市。高台にある共同作業所「あおぎり」では、津波の直接的な被害は免れたものの、仲間の一人を失って落胆する利用者たちを女性所長が励ましなが、一日も早く障害のある人が日常を取り戻せるように一歩を踏み出そうとしていた。また全国障害者ネットワークでは、東京、秋田、岩手、福岡など全国のグループが連携して支援活動を始めようとしていた。そんな矢先、「障害者が消えた」という情報が入ってきた。多くの避難所をまわっても、障害のある人の姿がほとんど見当たらないというのだ。

一方、福島第一原子力発電所事故によって避難を余儀なくされた地域の一つ、南相馬市では、避難できずに取り残されている障害のある人の存在を知った共同作業所「クロスロードハウス」の代表らが、自らの手で調査に踏み切ろうとしていた。しかし、各地の障害のある人の安否確認を進める中で、彼らに立ちはだかる障壁があった。それは、個人情報保護法によって開示されない、障害のある人の情報だった。法律によって守られる人権と、一刻を争う人命救助との狭間で苦しむ支援者たち。全国障害者ネットワークでは、この障壁を打ち破る手立てを模索していた。